

## 質問に対する回答書

工事等番号 令和4年度建整橋維補第1-10号

工事等件名 赤岩橋及び6648-2号橋橋梁修繕詳細設計業務委託

---

上記案件に係る質問に対して、下記のとおり回答します。

設計図書等の ページ箇所	質問内容	回答
設計書 P.9~13	(赤岩橋) 幅員が狭いため橋梁点検車の進入は困難であり、桁下が高いため梯子による近接目視が困難です。修繕設計を行う上での損傷調査は河床からの望遠目視のみと考えてよいでしょうか。	橋梁点検車の進入は可能と考えておりますが、橋梁点検において梯子での点検実績があります。なお、橋梁点検車での調査が必要と判断される場合は、監督員との協議とします。
参考資料 P.1~19	設計書の根拠となった資料等の提示をお願いします。(一次単価表以降の参考資料や設計対象となった径間数及び補正率の算出方法など)	三重県県土整備部が令和4年11月に制定した「積算基準(計画・設計編)」、三重県県土整備部道路建設課・道路管理課が令和5年3月に制定した「既設橋梁補強・補修設計業務積算参考資料」に基づき積算しています。